

評価表

計 画 内 容	計画名	中土佐町「日々好日」空間整備計画			都道府県名	高知県	
					市町村名	中土佐町	
	計画期間	平成17年度～平成19年度			日常生活圏域	久礼・上ノ加江・矢井賀地区	
					計画番号	39401-001	
目標 (面的な 配置構想)	<p>現在、当該日常生活圏域における公的介護施設整備状況としては、養護老人ホーム、老人保健施設、短期入所療養介護施設、介護療養型通所介護事業所、通所リハビリテーション事業所、訪問介護事業所、介護予防拠点施設が挙げられる。これら既存施設の中で専門的に認知症高齢者に対応できる施設は、上ノ加江地区の介護老人保健施設（認知症専門棟：定員20名、認知症デイケア：定員5名）のみである。要介護認定者や在宅介護支援センター相談業務からも着実に認知症高齢者は増加傾向にある。そのニーズに対して、当該日常生活圏域でのサービス基盤には不十分な現状があり、このため町内の介護施設を利用する事のできない認知症高齢者は、町外の医療機関への入院もしくは町外介護施設への入所といった選択肢しか残されていない。このような高齢者が住み慣れた場所から離れざるを得ない現状に、本町としても早急な施設整備の必要性に迫られているところである。よって、本整備計画で町内の既存施設に加えて認知症高齢者グループホームと認知症対応型デイサービスセンターを新設整備することにより「認知症高齢者グループホーム」「認知症対応型デイサービス」「介護老人保健施設」といった認知症高齢者に対応できる専門的な施設の拡充を図ることを目指している。今後、さらに高齢化が進むとともに多様化していくであろう高齢者のニーズに、対応可能な受け皿を整備し、高齢者が「日々好日」を実感できる空間づくりを目標と定めるものである。</p>						
整備事業	種類	施設数	定員数	総事業費	対象経費	17.18年度交付予定額	
	地域介護・福祉空間整備等事業(認知症高齢者グループホーム)	1(2ユニット)	18	158,731,000円	158,731,000円	25,000,000円	
	地域介護・福祉空間整備等事業(認知症対応型デイサービスセンター)	1	10				

指標名	施設整備の進捗状況	計画時現況		平成20年度		進捗率(%)		
		施設数	定員数	施設数	定員数	施設数	定員数	
①	地域介護・福祉空間整備等事業 (認知症高齢者グループホーム)	目標値	0	—	1(2ユニット)	18	100%	100%
		実績値	0	—	1(2ユニット)	18	100%	100%
	地域介護・福祉空間整備等事業 (認知症対応型デイサービスセンター)	目標値	0	—	1	10	100%	100%
		実績値	0	—	1	10	100%	100%

指標名	事業費の支出状況	種類	経費区分	18年度			
				目標値	実績値		
②	地域介護・福祉空間整備等事業 (認知症高齢者グループホーム)	総事業費	目標値	98,000,000円			
			実績値	81,750,000円			
		対象経費	目標値	98,000,000円			
			実績値	78,243,879円			
		交付金交付額	目標値	15,000,000円			
			実績値	15,000,000円			
		その他(事業者自己負担)	実績値	66,750,000円			
		②	地域介護・福祉空間整備等事業 (認知症対応型デイサービスセンター)	総事業費	目標値	60,731,000円	
					実績値	23,686,873円	
				対象経費	目標値	60,731,000円	
					実績値	21,714,878円	
				交付金交付額	目標値	10,000,000円	
実績値	10,000,000円						
その他(事業者自己負担)	実績値			13,686,873円			

指標名	事業者間の連携状況等
③	<p>地域包括支援センターや町内の社会福祉法人等と連携を図りながら、高齢者が住み慣れた町で安心して暮らせるための拠点としての役割を担っている。</p> <p>①グループホームふたなの職員が厚生労働省主催の「認知症を知り地域をつくる」キャンペーン、認知症サポーター100万人キャラバンメイト資格所得。</p> <p>②認知症デイサービスの専門性を生かし一般デイサービスから対応困難者の受け入れ可能となった。</p>

	項目	評価区分	評価の判断理由等
評価	施設整備の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> A: 目標とする整備が完了している <input type="checkbox"/> B: 目標とする整備が進んでいない	認知症対応型共同生活介護施設・認知症対応型デイサービスセンター施設整備が予定どおり完了し、平成18年度から認知症高齢者グループホーム、平成19年認知症対応型デイサービスセンターとしてサービスの提供が行われている。
	整備量と経費の比較	<input checked="" type="checkbox"/> A: 適切である <input type="checkbox"/> B: 適切ではない	認知症高齢者グループホームは、入札等により当初計画額より経費の削減が図られている。また、認知症対応型デイサービスセンターは、一般デイサービスとの共有スペースを確保するなど経費の削減が図られた。
	要因分析	内部要因	高齢者保健福祉計画並びに第3期介護保険事業計画作成時におけるサービス量の見込数を、大幅に予想を上回る認知症高齢者の増加により、早急に認知症高齢者グループホーム・デイサービスセンターを整備し、認知症でも在宅で生活できる環境整備が必要であった。
		外部要因	町内に地域密着型事業所の認知症高齢者グループホーム、認知症対応型デイサービスセンターは無かったが、地域介護・福祉空間等整備交付金を活用することにより、平成18年市町村合併後も高齢者が住み慣れた中土佐町で安心して生活できる拠点の整備が可能になった。
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> A: 良好に進んだ <input type="checkbox"/> B: 良好に進まなかった	認知症高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごす施設としての効果とともに、地域包括支援センターとの連携により、認知症高齢者を地域で支えるためのサポート拠点としての効果もあり、事業の目標が達成されたと考える。今後は町内の介護関係事業者間の連携の充実を図りながら、地域密着型サービスの拠点としての機能充実を図る必要がある。